

INDEX 2 学長寄稿／地域懇談会お知らせ 3 スターバックス15号館にオープン／アフリカ、国連Weeks開催お知らせ 4 新入生歓迎行事／カルト注意喚起

他者に寄り添い、ソフィアンとしての個性的な成長を



2024年度入学式が厳かな雰囲気の中で挙行された(東京国際フォーラム)

■入学式

4月1日、2024年度入学式が東京国際フォーラムにて挙行された。例年同様、午前・午後の2回に分けて実施。本年度は学部生2846人、大学院生603人、助産学専攻科生9人が入学し、新しい生活をスタートさせた。

式は上智大学管弦楽部の奏楽で始まり、カトリック・イエズス会センターの李聖一神父(午前の部)、アントニウス・フィルムシャー神父(午後の部)による祝福では、新約聖書のマタイによる福音書の一節が朗読され、上智聖歌隊・上智大学グリークラブが聖歌を合唱した。

曄道佳明学長は式辞の中で、「For Others, With Othersという上智大学の教育精神は、変わりゆく社会の中にあっても、ぶれることなく本学が追求、尊重し続けている精神基盤です。皆さんが、学び続けながら人間的成長を果たしていく中で、あるいは社会において役割を担う中で、常に強い意識を向けていただきたいと思います。上智大学という学びの環境で、弱い立場に置かれた人々のために、他者に寄り

添うソフィアンとしての成長を個性的に遂げられることを祈念しています」と、新入生を激励した。

新入生代表による入学の言葉では、秋山小百合さん(史学専攻／午前の部)が「多角的な視点で物事を見極めることのできる人間になれるよう、努力を怠らず学びを深めたい」、南田心春さん(法国／午後の部)が「仲間と互いに理解を深めると同時に、それぞれが学びを共有し協力することで、他者にどう寄り添うか、寄り添いたいかを模索する機会としたい」と、それぞれ学生生活への抱負を述べた。

サリ・アガスティン理事長は、「(イエズス会創立者の)イグナチオとザビエルが大切にしていたひとつのキーワードあるいは精神である『Magis』(マジス)というラテン語の言葉を紹介します。これは英語でbetter、日本語で『より良い』という意味です。つまり私たちはより良いものを目指し、学び、行動することを意味します。これから上智大学の環境で学ぶ皆さん、個人として、共同体として、Magisの精神をもってより良い人間、より良い社

会を目指しましょう」と祝辞を述べた。

続いて、森本聡上智大学後援会会長が「大学は、今すぐに役立つことを学ぶ場ではありません。上智大学の学びの場は、大学の教育プログラム、大学生活における交友関係を通して、学生一人一人の叡智の基盤を高めるものです。上智大学で培われた皆様の叡智が、For Others, With Othersの場で生かされることを願ってやみません」と新入生にエールを送った。

最後に、上智大学管弦楽部の演奏のもと、上智大学混声合唱団アマデウスコール・上智聖歌隊・上智大学グリークラブによる校歌斉唱で幕を閉じた。

■入学感謝ミサ

入学式の後、聖イグナチオ教会で入学感謝ミサが行われ、静謐な雰囲気の中、多くの新入生と父母が参加し、共に祈りを捧げた。

■上智大学後援会新入会員歓迎会

2号館5階の学生食堂では、在学生の父母・保証人からなる上智大学後援会主催の新入会員歓迎会が行われた。新入会員のほか、後援会役員、教職員など合わせて183人が参加した。

2024年度入学式



式辞を述べる曄道学長



午前部の新入生代表 秋山さん(手前)



午後部の新入生代表 南田さん(手前)



祝辞を述べるアガスティン理事長



四谷キャンパスに集った新入生



多くの新入生がミサに参加した

新役職者紹介

任期は2024年4月から2年間

新学部長

■総合グローバル学部長

つる やすこ 都留 康子

総合グローバル学部 総合グローバル学科教授

新センター長ほか

■基盤教育センター長

たけだ なほみ 武田 なほみ

神学部 神学科教授

■Sophia Future Design Platform推進室長

いろはら たかし 伊呂原 隆

理工学部 情報理工学科教授

■図書館長

まつもと なおこ 松本 尚子

法学部 国際関係法学科教授

■研究機構長

あかほり まさゆき 赤堀 雅幸

総合グローバル学部 総合グローバル学科教授

※Sophia Future Design Platform推進室長は再任。

北門広場にオブジェ誕生

新たなフォトスポットに

3月25日、麹町大通りに面した北門内の広場に「SOPHIA U」のロゴのオブジェが新たに完成した。

このロゴは、上智大学のグローバルなブランディングを念頭に、2022年に制定されたもの。人通りの多いキャンパスの玄関口に設置することで、本学の洗練されたイメージを訴求するとともに、正門前のS-TERRASSE、9号館アクティブコモンズ屋上庭園などに続く新たなシンボルとしての役割が期待されている。



オブジェ周辺は緑地化も推進された

北門内の広場一帯は、「上智の杜(もり)」として、サステナビリティ推進本部と環境整備グループが中心となり緑地化が進められてきた。

今後も同本部に所属する学生職員の発想力を生かしながら、誰もが安心して快適に過ごせるインクルーシブなキャンパスづくりを進めていく。